

地産地救

対象者:小規模農家、家族経営農家(主に高齢者)

課題部門

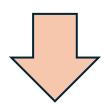
登録番号:10015

背景

今回の課題部門のキーワード

環境問題

家族だけなどの 個人経営体の農家



規格外野菜とは: 定められた規格から 外れた農作物のこと

小規模農家の人たちは捨てられる規格外野菜をどうしているのだろうか?

主な4つの規格外野菜の行く末

近所の人たちと 物々交換

産直コーナーへ もっていく

自分たちで 食べる 土に返す (廃棄)

<u>ここにフォーカス</u>

情報提供者 農家 78歳 野津智恵 祖母

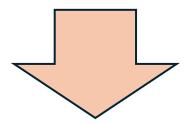


産直コーナーでの販売の利点

実際に行ってきた!



今日はこの花を 150円で売ろう! 少量、規格外の野菜 でも自由に値段を決 められる!





売れ残ったから 今日は100円に しておこうかな



実際の産直コーナーの様子

産直コーナーの値付け







自分の情報を バーコードから 読み取る 商品を選択

商品の個数と 値段を選択 今回は27個

でいる である である でいまる で出てくる か出てくる ご



今回は野菜が無かったので 「カラー」というお花を出荷!

問題点

産直コーナーは自由に値段が決めれる!



しかし、実際は…

商品の種類、個数、値段を決める作業





別々の値段のシールを出す には**一回一回、商品の種類、 個数、値段の入力をしない と**いけないし…

全然大きさとか違うけど、 それぞれ値段を決めるの はめんどくさい! もう全部50円でいいや!



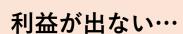
60P

形や大きさが均一ではないものを 同じ値段で売ってしまう

今回のプログラミン この部分に注目

安すぎても







労力に見 合わなく なる



売れ残る

スーパー 側から廃 棄料請求



まあ、売り切れるの が一番だからね… 仕方ないけど

自分たちで回収すれば廃棄料 は取られないけど、 どっちにしろ袋代が無駄に…

丁度良い値段で楽に決められるようにしてあげたい!

そこで私たちが考えたのが「地産地数

地産地救

高齢者に 寄り添った 簡単な操作!

商品の情報を入力







価格の決定



販売用の紙を発行

AIによって 見た目から 適切な値段 を出力

従来廃棄していたものを売りやすく

使用イメージ:価格決定

人参ですね?



はい /いいえ,これは…

✓ 1番左の野菜の 値段を教えて ください。

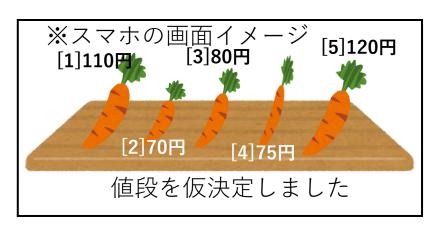


音声入力:Google Speech-to-text API



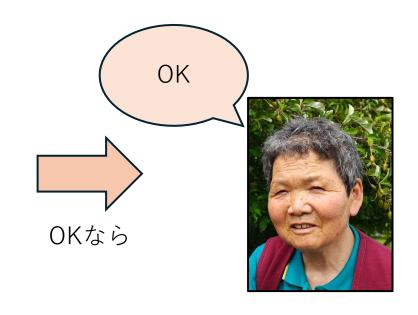
学習AI(OpenCV)に よる値段決定

100円 これが値段設定の 基準となる 使用イメージ:修正時





もし値段が気に入らないなら、 提案された金額を修正可能





地産地救の良いところ



いいね~



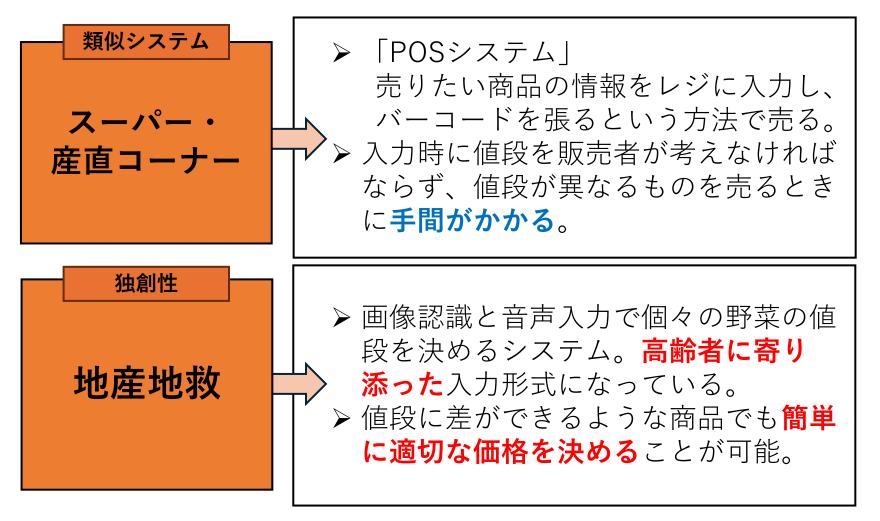


野菜それぞれの 値段を決めやす い



個別な値段設定 ができる スマホをかざし て音声入力で 高齢者に優しい システム

類似システムとの相違点・独創性



※特許として値段決めするシステムはあったが、画像で判断するものはなかった。

実現方法・開発スケジュール



まずはキュウリで開 発を進め、うまくい けばほかの野菜でも テスト予定





順調にいけば、利用イメージで書いたような、 画像から認識するような ものに改良していく



高専祭で祖母や 農家の方に実際に 使ってもらい、 テストをする

	5月	6月	7月
フロント エンド	設計開発	中間	第 末
バック エンド	設計開発	試験開	試験
	8月	9月	10月
フロント エンド	デバッグ 全体完成		
バック エンド	改善改善	高専祭	ミテスト

システム実行環境



プリンタ

スマホ iOS/Android

環境開発

OS: Windows 言語: JavaScript、Dart フレームワーク: Flutter (+クラウドAI)